ほこたし市 議会だより

平成24年1月31日発行
No.26

平成23年12月定例会

- 平成23年第4回定例会 主な質疑 …… P2~P3
- 提出議案と審議結果 …… P2~P3
- ここが聞きたい! 一般質問 …… P4~P9
- 主な議会の動静 …… P9
- 委員会活動報告 …… P10~P11
- 議会報告会 …… P12
- 議員研修 …… P13
- 傍聴者の声 ／ 3月定例会の予定 …… P14

みんなの幸せを願って・・・
～とりのす保育園　クリスマス会～

平成23年第4回定例会

〈本会議〉12月9日

主な質疑

議案第2号

鉾田市暴力団排除条例の制定について

問 不当要求に対する措置として、不当な暴力団の要求に対しては必要な措置を講ずるということですけど、これまで市に対して、暴力団員等からの不当な要求というようなものはこれまであったのか。また、具体的にどのような対応をして、必要な措置とはどのようなことを考えているのか。

答 今までに、市へ暴力団からの不当要求等についてはありません。また、不当要求に対する措置についての市の考えということですが、必要な措置としては、職員が不当要求を受けた際に、不当要求に対する基本原則に則した統一的な対応方針を定め、これを履行していくためのマニュアルの作成や研修を今後考えています。

議案第3号

平成23年度鉾田市一般会計補正予算（第5号）

問 排水機場の災害復旧について、なぜ排水機場が市の持ち物になっているのですか。管理は現在どこが行っているのですか。

答 巴川沿岸土地改良区については、土地改良区のエリアの中もそうなんですが、あの辺はもともと昔から地盤が低いところで、旧町内が冠水するというような被害がありました。それを改善するための湛水防除事業の中で巴川に強制排水かけるための機場が整備されました。これは国事業で県が実施したものですが、現在市が管理をしているという状況です。

問 3人っこ家庭応援事業の120万円の減額について、どのような内容なのか。それから、道路新設改良費で525万円の増額と東日本災害支援事業の572万円の減額の内容について伺います。

答 3人っこ家庭応援事業120万円の減ですが、すこやか保育応援事業という新たな事業が創設されたため、3人っこ家庭応援事業を減額して、そちらに切りかえた形になります。

道路新設改良費の525万円については、柏熊地区の大沢排水の工事費で、現在工事を進めていたのですが、排水管の延長をしないとのり面が再び崩れるおそれがある部分について、約50メーター分の排水管延長分の工事費を計上しました。それから、東日本災害支援事業の委託料の572万円の減額については、災害救助法に基づく住宅の応急修理支援事業を実施していたところですが、時間も経過して、申し込みする世帯もなくなったため、減額したものです。

提出議案と審議結果

◎全員賛成　●賛成多数　●賛成少数　△継続審査

平成23年第4回鉾田市議会定例会

条例・規則の一部改正等
- ◎鉾田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ◎鉾田市暴力団排除条例の制定について

平成23年度補正予算
- ◎鉾田市一般会計補正予算（第5号）
- ◎鉾田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- ◎鉾田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
- ◎鉾田市旭区域水道事業会計補正予算（第4号）
- ◎鉾田市鉾田区域水道事業会計補正予算（第4号）
- ◎鉾田市大洋区域水道事業会計補正予算（第3号）

人事
- ◎鉾田市教育委員会委員の任命について（鉾田　田口　裕之）
- ◎鉾田市固定資産評価審査委員会委員の選任について（鹿田　村上　勝男）
- ◎鉾田市固定資産評価審査委員会委員の選任について（鉾田　田島　隆勝）
- ◎鉾田市固定資産評価審査委員会委員の選任について（中居　風間　守）
- ◎人権擁護委員の推薦について（汲上　飯島　聰子）

請願
- ●教育予算の拡充を求める請願

意見書
- ◎教育予算の拡充を求める意見書の提出について

その他
- ◎工事請負契約の変更について
- ◎物品購入契約の締結について（2件）
- ◎訴えの提起について
- ◎市道路線の認定について（2件）
- ◎市道路線の変更について
- ◎議員派遣について

本会議及び常任委員会欠席者

第4回定例会		
12月1日	本会議	小沼 俊秀
12月2日	本会議	小沼 俊秀
12月2日	本会議	飯塚 幸右衛門
12月6日	経済建設常任委員会	小沼 俊秀

各議員の賛否（賛成反対が分かれた議案のみ掲載）

議案名：教育予算の拡充を求める請願

○：議案に対して賛成　×：議案に対して反対　議：議長

議員	採決結果
倉川　陽好	×
石津　武吉	○
高野　衛	○
堀田　正衛	×
田口　清一	×
栗田　洋	×
山口　徳	議
友部　政徳	○
菅谷　達男	○
米川　宗司	○
井川　茂樹	○
畠　長弘	○
岩間　勝栄	○
飯塚幸右衛門	×
小沼　俊秀	○
江沼　久男	×
入江　晃	○
水上美智子	○
小川　一彦	×
出沼　丈夫	×
小沼　幸義	○
根寄　眞	×

請願の争点

少人数学級の推進、教育の機会均衡と水準の維持向上、震災からの教育復興などの課題をクリアするためには国の教育予算の拡充を図るべきだという請願趣旨については全議員が賛成でありました。

現在、本市では鉾田市公立学校施設適正配置計画策定委員会の答申結果である「1学級当たり35人以下」を目指し小学校の再編作業を進めています。

本請願では「OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とする」としており、本市の再編計画との整合性がとれないのではないかと意見がわかれましたが、採決の結果賛成多数により採択され、意見書を国へ提出しました。

ここが聞きたい!!一般質問

10人の議員が一般質問

議員名	質問事項
石津　武吉	(1)甘すぎる職員の処分について (2)震災後の人口減少について (3)震災後のベ・フェスタの経費について (4)住宅地の価格の大幅下落について (5)学校給食の改善について (6)瓦れきの積置き場所の延長について
倉川　陽好	(1)市有地の活用について (2)鹿行橋の完成と記念式典について (3)少子化対策について (4)高齢者に暮らしやすい街づくりについて
出沼　丈夫	(1)市道6-03号線の復旧工事について (2)急傾斜地の対応について
畠　長弘	(1)TPPに対する本市の対応について (2)原発の安全対策について (3)インフラ整備について
水上美智子	(1)高齢者対策について (2)原発事故による放射能対策について (3)空き家対策について (4)子供議会について (5)意見箱設置について (6)スズメバチの駆除について (7)みどりのカーテンコンテストについて
江沼　久男	(1)市街地の復興について
小沼　幸義	(1)原発事故について (2)白鳥東小学校内の旧幼稚園校舎について (3)市議会議員選挙について
高野　衛	(1)TPP問題について (2)放射能対策について (3)原発損害賠償請求について (4)震災対策について (5)福祉対策について (6)学校給食について (7)歩道の整備について
入江　晃	(1)放射能物質検査について (2)農産物加工場について (3)鉾田市総合計画後期基本計画について
小川　一彦	(1)東日本大震災を受けて (2)放射線に対して (3)百里基地騒音対策について

ホームページで一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。
①鉾田市のホームページへアクセスする。（アドレス http://www.city.hokota.lg.jp）
②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。
③会議録をクリックする。
なお、今定例会の会議録公開は、3月頃の予定です。本会議の会議録（「冊子」）は、市立図書館で閲覧できます。

瓦れきの積置き場所の延長

石津　武吉　議員

問 12月9日で、旧大洋村の天神平への瓦れきの搬入が終了するとの周知がありましたが、県内の被災住宅の修繕や改修等の進捗状況は25％程度と言われています。こうした点を踏まえて、搬入受け入れ期間の延長や新たな場所の確保を行う考えがあるか伺います。

答 【市民部長】現在、災害瓦れきの受け入れは12月9日までと周知していますが、市民から、まだ災害ごみの処理が終わらないため、引き続き開設してほしいとの要望がありましたので、新年1月中旬より再開したいと考えています。期間の延長については、12月9日から約1カ月間は仮置き場の瓦れきの処理を行い、1月15日から3月18日まで延長を予定していますが、場所については、現在仮置き場として利用している天神平にて、引き続き受け入れを行う予定です。

問 3月18日で震災から約1年になりますが、それ以降も瓦れきの搬入受け入れを継続する考えがあるか伺います。

答 【市民部長】年度切り替えが3月という点で一つの目安にしていますが、その時の状況により再度検討したいと考えています。

鹿行橋の完成と記念式典

倉川　陽好　議員

問 東日本大震災で鹿行大橋の中央部の崩落により、鉾田市と行方市の交通網が遮断され、市民の生活に様々な影響を与えています。現在建設中の新大橋の完成時期、記念式典やイベント等についての考えを伺います。

答 【建設部長】完成は平成24年の夏ごろで、開通式典を実施すると聞いていますが、具体的な方法はこれから決めることになります。

【産業経済部長】行方市、鉾田市の2市にわたる開通となり、行方市から合同事業として記念イベントの開催を打診され、現在協議中です。今後、行方市と連携して実行委員会を設立し、実施したいと考えています。

問 橋の名称も「鹿行大橋」のままでなく、新たな名称を公募したり、イベントでは鉾田市のＰＲをすべきと考えますがいかがか。

答 【建設部長】橋梁の名称については、あくまで県管理の橋であり、そのような懸案があるとお伝えします。

【産業経済部長】橋が完成しますと、海水浴場、農産物のメロン狩りやいちご狩りとか、いろいろ利用される方もいると思いますので、記念イベントとなれば、そういうものも含めて今後いろいろ協議したいと思います。

市道6-03号線の復旧工事

出沼　丈夫　議員

問 鉾田郵便局前の道路、鉾田川にかかる橋が通行止めになっていますが、これまでの市の対応について伺います。また、この橋は何年前につくられたものか、当時の調査、設計、工事に間違いはなかったか伺います。それから復旧に時間を要する工事については、住民に対して詳しく説明をして、理解を得られているのか伺います。

答 【建設部長】これまでの経過については、3月下旬の地質調査、工事の検討から始まり、県、国との協議を経て、7月下旬に査定を受け、補助対象工事額が決定されました。その後、実施設計に着手し、橋に添架されている光ファイバーケーブルの取り扱いについてＮＴＴとの協議に入りました。そこで、橋台の設計を一部変更する必要が生じたので、査定内容との変更部分について、再度、県、国との協議を行い、11月初旬に了解を得られたため、12月中に入札を実施することになりました。

この富士橋については、昭和47年12月に架設され、39年を経過していますが、大震災まで特に問題はなく、設計等の間違いはなかったと考えています。また、市街地の一部区長には、災害復旧事業で工事を実施するため、復旧に時間を要する旨の説明をしています。

原発の安全対策

畠　長　弘　議員

問 福島第一原発事故を受け、市として、防災対策を今後どのように進めていくのか伺います。

答 【総務部長】今後、市においても、国、県や関係市町村と連携し、地域防災計画を修正し、関係機関と協力しながら進めたいと考えています。

問 今回山口県萩市と島根県浜田市と災害応援協定を結ばれたということですが、その内容について伺います。

答 【市長】協定について、まだ締結までは至っていません。まず経過については、旧旭村のときに7町村で旭サミットを展開していました。そのときに相互災害協定が結ばれていた経緯もあり、今回の災害時には、萩市と浜田市から、大型トラックで緊急物資を3月18日に届けていただきました。今回はそのお礼も兼ねて、今後も同様なことがあった場合に、旭の協定のままではどうかと考えて、新たに協定を締結するよう申し入れをしてきました。とくに浜田市は、県内の松江市に中国電力の島根原子力発電所がありますので、今後同じような原発事故があった場合に、住民避難の受け入れ等が発生することも想定されるので、今後さらに細かいところを詰めて、最終的には協定を締結したいと考えています。

原発事故による放射能対策

水上　美智子　議員

問 原発事故による放射能対策として、市民の不安を解消するため、職員が市内の宅地の放射線量を無料で測定できないか伺います。

答 【総務部長】平成24年1月1日から放射性物質汚染対処特措法が全面施行されるに当たり、環境省による汚染実態重点調査地域の指定は、航空モニタリングの結果を活用し、1時間当たり0・23マイクロシーベルト以上の市町村を指定することになりました。この指定により、年間1ミリシーベルト以下を目標にする各種対策が行われることになりました。環境省令で定められた0・23以上の地域が一部市内にあるため、本市も指定対象になりました。新たな国の指針が出たことや、身近な生活圏の放射線量を確認したいなどの声が多いことから、住民の不安の軽減のため、希望者への測定器の貸し出しを検討しているため、職員の訪問測定は考えていません。

問 他市では、専門の職員が訪問して測定し、結果によっては除染等についての助言を行っているところもありますが、本市も同様にできないか伺います。

答 【総務部長】測定方法や除染についてのチラシの配布を考えていますので、職員の訪問は考えていません。

市街地の復興

江　沼　久　男　議員

問 東日本大震災からの復興に向けて、国は復興予算として第3次補正予算を成立させました。その施策の中でも、東日本大震災復興交付金は、市街地液状化対策事業、再開発事業、区画整理事業など市街地復興に向けた事業が多くあり、活用できると思います。今後何をするにも中心部の復興なくしては本市の発展はないと思いますが、市ではどのような考えか伺います。

答 答　弁【総務部長】国の第3次補正予算の総額は、約12兆1、000億円となり、その中でも震災関連経費は約11兆7、000億円もあります。東日本大震災、原子力災害からの本格的な復興予算として、復興に資する施策重点に措置するとともに、日本の経済の再生なくして被災地域の真の復興はないとの認識から、円高や産業の空洞化への配慮、さらに財源についてあらかじめ道筋を定めた復興債の発行等により配慮するなどを重点にしています。このような状況の中で、国は復興特別区域法案を策定し、復興交付金について、国が指定した40事業に対して、被災市町村が復興交付金事業計画を作成し、交付金を配分することとしています。詳しい交付金の情報がわかれば改めて検討したいと考えています。

原発事故

小　沼　幸　義　議員

問 原発事故について、本市において事故後最も放射線量の高かった月日とその測定値はどのくらいだったか。また、現在までの放射線量の推移状況はどうか伺います。それから、本市も国の除染対象地域に申請をしましたが、その経緯について伺います。

答 【総務部長】最も放射線量の高かったのは、3月15日の午前7時40分に縦山局で5・343マイクロシーベルトを計測しました。その後、時間とともに徐々に放射線量が低下していきましたが、3月16日の5時10分と3月21日の4時40分に放射線量の上昇が見られました。その後は、現在まで放射線量の上昇は見られず、鉾田市で最大測定値を観測した縦山局では0・11マイクロシーベルトまで低下してきています。

　放射性物質汚染対処特措法が平成24年1月1日から全面施行されるに当たり、環境省から基準値、1時間当たり0・23マイクロシーベルトが示され、年間1ミリシーベルト以下を目標にする各種対策が行われることになりました。本市も航空モニタリングの数値が1時間当たり0・23マイクロシーベルト以上の区域が一部あるため、汚染状況重点調査地域の指定対象となります。今後除染計画を作成し、計画の認可を得れば、国費による除染が可能となります。

TPP問題

高野　衛　議員

問 TPPに参加をした場合、米の生産は9割減少し、食料自給率は40％から13％へ低下すると農林水産省は試算をしています。農林水産業や地域社会は壊滅的な打撃を受けることになると思います。さらに、非関税障壁撤廃の名のもとに、食の安全や医療、金融、保険、公共事業の発注、労働などあらゆる分野で外国企業への無秩序な開放が迫られます。鉾田市にとって打撃となるTPP参加撤退を国に求めるべきと思いますがいかがか。

答 【産業経済部長】国は交渉参加の事前協議の結果によっては参加しない可能性があるとの認識を示しております。しかしながらTPP参加によるメリット、デメリットの説明が不透明な状況であります。

今後の国の状況と動向、そういったものを重視しながら、今後の対策についてさらに考えていきたいと思います。

問 日本一の農業を目指す鉾田市長としては、本市の農業を壊滅させることにつながるTPP参加に対し、明確な意志表明を国に伝えていただきたいと思いますがいかがか。

答 【市長】農業が壊滅的になるような、そういう内容であれば、当然そのような声明を発していくつもりです。

放射能物質検査

入江　晃　議員

問 農産物放射能物質検査の費用について、個人や組合が自主的に実施しているものに対して、市で補助金を交付できないか伺います。また、市でも検査機器を購入して、販売農家を中心に検査を進めるとのことですが、料金や証明の方法についてどのようにしていくのか伺います。

答 【産業経済部長】今後、検査機器を導入するに当たり、料金や証明をどのようにするか、現在規定づくりの協議をしています。

個人や組合が自主的に実施している検査費用に対する補助については、現在のところ考えていません。

問 市では今後も、ほかの検査機関にも引き続き検査を依頼して、同時並行で進めていく形になると思いますが、市が行う検査については、無料で実施することができるかどうか伺います。

答 【産業経済部長】今後機械を導入したとしても、1日の検査の量がどのぐらいになるのかまだ想定できていません。

検査機器の能力や、時間がどのぐらいかかるかとか、それを今後調べていきます。ただ、検査をする場合には予約を受けて、有料でやらなければならないと考えています。

百里基地騒音対策

小川　一彦　議員

問 小松基地のF15戦闘機のタンク落下事故により、パイロットの訓練を百里基地で行うとのことですが、百里基地において飛行回数や時間が増えることはないのか伺います。

また、飛行回数が増えたり時間が増えるのであれば、交付金も増額になるのかお伺います。

答 【総務部長】小松基地所属第6航空団飛行隊所属の全操縦者の技量維持のため飛行訓練を11月21日から当分の間行うと百里基地から連絡がありました。この訓練は百里基地の年間訓練計画の枠内で行われるため、小松基地所属の操縦者の訓練によって飛行回数が増えることはないとのことです。

小松基地所属の操縦者の技量維持訓練によって百里基地で飛行回数が増えることはないので、交付金の増額はないものと考えます。

問 飛行時間に比例して、交付金が増額になるのか伺います。交付金を算定する根拠があると思いますが、市ではどのように把握していますか。

答 【総務部長】交付金算定の方法は、基地の運用とか面積、人口等を基礎として算定されているようですが、詳細ついては知らされていないのが現状です。

主な議会の動静

11月
- 4日　正副議長・正副委員長会議
- 8日～9日　議会広報編集委員会行政視察（行方市・群馬県前橋市）
- 10日　行方市議会来庁
- 11日　原子力施設の安全に関する調査特別委員会視察研修（東海村・大洗町）
- 15日～16日　茨城県市議会議長会第1回議員研修会（常陸大宮市）
- 18日　議会報告会
- 21日　鉾田市災害復旧復興対策特別委員会
- 22日　議会運営委員会
- 24日　区長会役員と市議会との意見交換会
- 29日～12/9日　平成23年第4回定例会

12月
- 5日　総務企画常任委員会
- 6日　経済建設常任委員会
- 7日　厚生文教常任委員会
- 9日　鉾田市災害復旧復興対策特別委員会
- 9日　議会広報編集委員会
- 14日　百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 20日～22日　議員研修会（北海道栗山町・石狩市）

1月
- 19日　鉾田市災害復旧復興対策特別委員会意見交換会
- 24日～25日　茨城県市議会議長会理事会及び定例会
- 26日　議会広報編集委員会
- 31日　議会運営委員会
- 31日　平成24年第1回臨時会
- 31日　鉾田市災害復旧復興対策特別委員会

委員会活動報告

【厚生文教常任委員会所管事務調査】

十二月七日（水）に所管事務調査を実施し、鉾田第二保育所の地盤改良工事の進捗状況を確認しました。

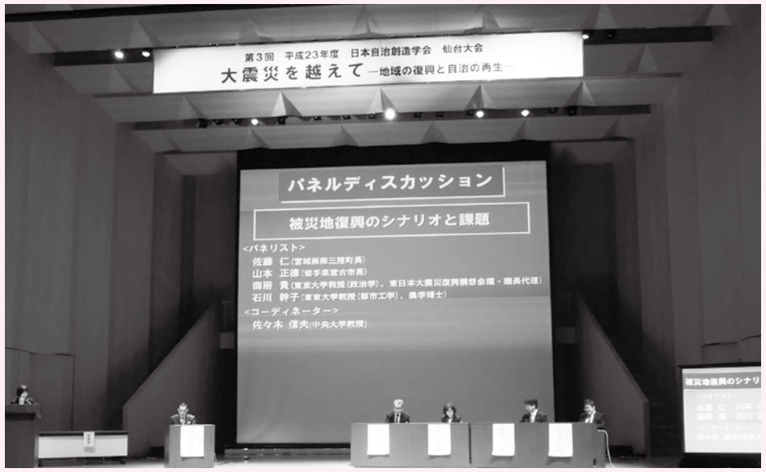
百里基地所属F−15戦闘機の部品落下事故についての申し入れ

【百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会】

十二月八日（木）と九日（金）に発生した百里基地所属F-15戦闘機の部品落下事故報道を受けて、十二月十四日（水）に百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会を開催し、同日付で、航空自衛隊百里基地司令あてに、議長及び委員長連名による申し入れを行い、再発防止のため万全な対策を講じることを要請するとともに、事故が発生した場合には、速やかにその事実を公表するよう強く求めました。

百里基地 第七航空団司令部 監理部長へ申し入れ書を提出

委員会活動報告



【鉾田市災害復旧復興対策特別委員会視察研修実施】

十月二十六日（水）に仙台市の東北福祉大学にて開催された「地域の復興と自治の再生」をテーマにした講演等を拝聴しました。翌二十七日（木）には、仙台空港をはじめとした被災地の現地視察を行いました。

【原子力施設の安全に関する調査特別委員会視察研修実施】

十一月十一日（金）に東海村にある日本原子力発電㈱と大洗町にある日本原子力研究開発機構において、原子力施設の具体的な安全対策に関しての説明を受けるとともに、施設の視察を行いました。

【議会広報編集委員会視察研修実施】

十一月九日（火）に行方市議会、翌十日（水）に群馬県前橋市議会において、議会広報編集に係る行政視察を行いました。

鉾田市議会報告会

昨年十一月十八日に議会報告会を開催いたしました。

【議会報告会を振りかえって】

議長　山口　徳

十一月十八日に開催された議会報告会は議長就任後初の大きな行事でございました。本市議会では平成十九年に議会基本条例を県内で一番早くに制定いたしました。この議会基本条例で は、市民に対し開かれた議会を目指すことを目的としており、その目的の一環として議会報告会を年に一度開催しております。

今回の報告会にあたっては、各常任委員長より所管事項に関する報告、鉾田市災害復旧復興対策特別委員会委員長から震災復旧に関する報告、百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会委員長から百里基地騒音対策に関する報告、原子力施設の安全に関する調査特別委員会委員長から原子力施設の安全性に関する報告等をさせていただきました。

また、質疑では参加された方から、それぞれ行政に対する要望またはご意見、または議会に対する提言等をいただきました。これらの貴重なご意見については、議員全員で精査して、行政に対するご意見については議会としてきっちりと執行部に対し要請していきたいと思います。さらに議会に対する提言については真摯に受け止めさらなる議会改革に邁進していきたく思います。

今回の報告会では参加された方が少ない印象を受けました。これは何より市民の皆様にとって議会に興味がないあらわれであるものと反省しております。今後、市民の皆様にとって親しみのある議会にするために努力してまいります。

来年度についても、引き続き報告会を実施したいと思いますので、ぜひ参加してくださるようお願いします。議員一同お待ちしております。

【鉾田市議会報告会報告者】

総務企画常任委員会所管に関する報告　委員長　江沼　久男
経済建設常任委員会所管に関する報告　委員長　小沼　俊秀
厚生文教常任委員会所管に関する報告　委員長　菅谷　達男
鉾田市災害復旧復興対策特別委員会報告　委員長　倉川　陽好
百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会報告　委員長　堀田　正衛
原子力施設の安全に関する調査特別委員会報告　委員長　畠　長弘

議会議員研修

平成二十三年十二月二十日から二十二日にかけて、議員としての研鑽を図ること目的とした議員視察研修を行いました。

一日目には北海道栗山町において『議会基本条例の運用について』を研修しました。栗山町では全国に先駆けて議会基本条例を制定し議会改革に取り組んでおります。一般市民、有識者等で開催される一般会議では行政課題についてお互いに意見を交換し、その結果を執行部に対して指摘されていました。そのほかにも先進的な取り組みが行われていました。

二日目の石狩市では会派制による議会運営について研修いたしました。今後本議会で会派制導入について議論する際の貴重な意見を聞くことができました。これらの研修の成果として、さらに勉強をしてよりよい議会運営をはかってまいります。

【皆さまのご理解をお願い申し上げます】

鉾田市議会議員一同

公職選挙法では、次のような事項が禁止されています。

- 議員や後援会が寄附や有料の広告を出すこと。
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること。
- 答礼のための自筆によるものを除き、議員が年賀状や寒中見舞いなどのあいさつ状を出すこと。
- 市民や団体が議員に対し寄附などを求めること。

※議員に対して寄付を求めることも禁止されています。

発行／鉾田市議会　　編集／鉾田市議会広報編集委員会
〒311-1592　茨城県鉾田市鉾田1444-1　☎0291-33-2111㈹　FAX0291-33-6002　Eメールgikai@city.hokota.lg.jp

傍聴者の声

大竹
閑野　松夫

今回の一般質問では、十人の発言者のうち六人が、原発・放射能に関係する質問でありました。それぞれの議員が様々な問題を質問されていました。誰もが本当に市民の安全・安心を願う発言でありました。これは原発・放射能の問題が市民の中に不安と心配が根深くあるからでしょう。特に幼児や子供のいる親にとって放射能の問題は、これからも長い期間に渡り不安や心配がぬぐいきれない問題になっているからでしょう。市民の健康と安全を守るためにも行政は「市民の声」によく耳を傾けて、適切な対策をとってくれることを願っています。

掲載写真募集!!

あなたの写真を
議会だよりに掲載しませんか？
詳しくは、議会事務局に
お問い合わせ下さい。
尚、編集の都合上、写真は
縦長にてお願い致します。

3月定例会日程（予定）のお知らせ

日	会議内容
3月6日（火）	本会議 開会
3月8日（木）	一般質問
3月9日（金）	一般質問
3月13日（火）	本会議
3月14日（水）	本会議
3月15日（木）	委員会
3月16日（金）	委員会
3月19日（月）	委員会
3月23日（金）	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成23年第4回（12月）定例会の延傍聴者数 63名

編集後記

昨年は、大震災と原発事故という未曽有の体験をしました。十二月の定例会においては、震災、放射能への対策の質問を多くの議員が行いました。今、市民の皆さんのくらし・命・健康を守る対策が強く求められています。

十一月には、今年で三度目の議会報告会が行われ、意見・要望が数多く出され、議会だよりに議案に対する議員の賛否の状況が掲載されたことは、良いことであると評価の声が出されました。鉾田市議会では県内初の議会基本条例を制定していますが、より充実した内容に改正する目的で、昨年十二月に全国初の議会基本条例を制定した北海道栗山町議会を鉾田市議会として視察してきました。町民、団体との意見交換の為の一般会議や議会運営に関し、提言を聴取する議会モニターの設置など、数多くの進んだ内容を学んできました。真摯に市民の声に耳を傾け、議会として議会改革に努力していきたいと思います。

（高野　衛記）

委員長　友部　政徳
副委員長　根岸　眞
委員　水上　美智子
　　井川　茂樹
　　米川　宗司
　　高野　衛

写真提供：鉾田南中　2年生
場　　所：かしまなだ海浜公園